

ふじとくだより



静岡県立藤枝特別支援学校だより



令和4年度 第2号 (2023.2.24)

「干支の呼び名は本来・・・」



1月の10年に1度の大寒波で、今まで以上に寒い日がありましたが、2月に入り、暖かな日が増えてきたように思います。保護者の皆様には、日頃より、学校への御理解、御協力ありがとうございます。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、感染症対策を行いながら、学習活動や行事を行ってきました。ふじとくまつりや校外学習、宿泊学習、修学旅行、持久走大会など、行事への活動や毎日の学習の積み重ねから、子どもたちは、挨拶ができるようになったり、集中して物事に取り組んだりして、大きく成長している様子を伺うことができます。

「干支」は皆さんもご存じの通り十二支ですが、本来は、「十干十二支（じっかんじゅうにし）」を略した呼び名で、「十干」と「十二支」を組み合わせたものだそうです。「十干」は、甲、乙、丙、丁…壬、癸と1から10までものを数えるための言葉です。今年は、「癸卯（みずのとう）」です。「癸」には「物事の終わりと始まり」、「卯」には「冬の門が開き飛び出る」という意味があると言われています。この2つの組み合わせである癸卯には、「これまでの努力が花開き、実り始めること」といった縁起のよさを表しています。子どもたちのこれまでの努力が実を結び、次のステップでの成長を期待したいと思います。

そして、お知らせです。日本教育弘済会静岡支社様から、拡大本や教材教具を寄贈頂きました。拡大本を利用して、読み聞かせを行うと、子どもたちは、食い入るように本を見て、それぞれ思ったことを、先生方に伝えてきます。また、頂いた教材教具を使い、自分から進んで学習に取り組む姿が数多く見られました。

今後とも、本校をとりまく地域の方々、保護者の皆様、本校への御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

今号では、学校生活の一部について御紹介します。御覧いただき、お子さんとたくさんお話し頂ければ幸いです。



(文責：教頭 大橋幸彦)

《小学部》

＜ふじとくまつり大成功＞

ふじとくまつりは昨年度に引き続き1年生、2年生は神輿、山車での練り歩き、3年生、4年生は体育館でのステージ発表、5年生はゲームコーナー運営、6年生はゲームコーナー運営と開演太鼓の演奏行いました。小学部が一つになって元気に仲良く頑張る姿を披露することができました。来校していただいたご家族の皆さんの笑顔が印象的でした。



＜修学旅行＞

6年は、10月27（木）～28日（金）に浜松方面へ修学旅行に行ってきました。一日目はウォット、うなぎパイファクトリー、浜名湖遊覧船博物館、二日目は竜ヶ岩洞、楽器博物館を見学しました。事前学習で学んだことの確認や、これまでの経験をいかして公共の場でのマナーを守る等の行動は、さすが小学部のリーダー6年生でした。一人一人がお気に入りの場所、活動があり、思い出に残る修学旅行となりました。



（文責：小学部主事 中村光宏）

《中学部》～自分から進んで活動に取り組む生徒～

＜ふじとくまつり＞

ふじとくまつりでは、今まで作業で作った製品を販売しました。校内の先生方にアドバイスをいただいたり、高等部の生徒に教わったりして、よりよい製品づくりに取り組みました。当日は実演を見せた後販売し、実際にお金のやり取りをしました。自分たちが頑張って作ったもので、お客さんを笑顔にするという貴重な体験ができました。生徒たちも自信に満ちた笑顔いっぱいになりました。

＜修学旅行＞

3年生が楽しみにしていた修学旅行は、浜松に1泊2日で行ってきました。浜松城、気賀関所、静岡瀨布、弁天島等に行きました。実際に自分で体験したり、調べたことの確認をしたり、浜松で有名な食べ物に舌鼓を打ちました。気賀関所では扮装体験したり、五社神社では、高等部受検の合格祈願をしたりしてきました。自分のことは自分でという目標も意識し、思い出に残る修学旅行となりました。



（浜松駅）



（楽器博物館）



（気賀関所）



（ホテル）

（文責：中学部主事 小川陽子）

《高等部》

＜修学旅行＞

11月7日～9日、2泊3日で東京に行ってきました。感染対策を十分講じた上で実施しました。現地での主な交通手段は電車だったため、複雑な路線図とにらめっこする姿や、乗り継ぎでひたすら歩く姿など、東京ならではの発見がありました。事前に学習した浅草や秋葉原を実際に歩き、それぞれお気に入りの場所を見つけました。ハードな日程でしたが、思い出に残る旅になったと思います。

＜作業発表会＞

1月28日に作業発表会を実施しました。今年度もコロナ対応のため、参加者を本校保護者のみに限定しました。販売会は、生徒自ら作った製品を対面で販売する貴重な機会です。お客様からの感謝や励ましの言葉をたくさんいただき、生徒たちのやる気↑に繋がりました。



(文責: 高等部主事 中村研司)

《1組（肢体教育）》

＜修学旅行＞

2学期には各学年や学部で校外学習や修学旅行が行われました。計画の段階からコロナの感染予防対策等を十分に検討したうえで、安全安心に実施することができました。修学旅行は10月に中学部3年生は県内浜松方面に1泊2日、11月に高等部3年生は東京方面に2泊3日で行ってきました。見る、聴く、触る、食べるなど、それぞれの行き先で思い出に残る、楽しい体験をすることができました。

＜ふじとくまつり大成功＞

12月のふじとくまつりでは、小学部は知的学級と合同で、1・2年は神輿や山車のねり歩き、3・4年生は舞台での発表、5年生はゲームコーナーの運営、中学部は学習したSDGsに関するゲームコーナーの運営、高等部は手づくり班で作製した干支だるまと新製品のクリスマスだるまの販売を行い、来校された保護者の方々を笑顔でいっぱいにすることができました。



スカイツリーは高い!!



浜松科学館!



ステージ発表練習風景



バナナの山車を作成

(文責: 肢体教育統括主任 斎藤雅行)

《訪問教育》

＜集合学習＞

10月12日に第二回集合学習を行いました。2名参加しZoomでつながりました。今回は日頃の学習の様子を発表しあいました。小学部は筒の蓋を引っ張る手を使った活動の様子を発表しました。中学部は社会で調べた浜松の産業「楽器」についての学びをクイズ形式で発表しました。



＜ふじとくまつり＞

ふじとくまつりにZoomで参加しました。小学部は開演太鼓で太鼓を叩いて参加をしました。中学部は1組のコーナーに参加しました。スイッチによる音楽係を担当し、学校の友達とつながりました。家でもボールを転がして倒すゲームに参加をしました。校内の楽器体験館やプラネタリウムなどのコーナーを見学し、お客さんが体験している様子を見学しました。

(文責：訪問主任 阿部理抄)

《保健室より》 花粉症対策 (2023シーズン)



コロナ禍でマスクの着用が徹底され、外出の機会も減ったことで、2020年春以降、多くの人が花粉症の症状が軽くなったと感じているそうです。しかし、今シーズンは外出が増えること等から、例年以上に早めの注意・対策が勧められています。

花粉症対策の重点ポイント (ニューノーマル花粉症ガイド 2023 より)

マスクの着用が重要!



最も有効な対策は、花粉を体の中に入れないことです。コロナ対策の見直しで、脱マスクが話題になりますが、花粉症の人は、引き続きマスクの着用が大切になります。

予防と対策はとにかく早めに!



花粉症は症状が重くなってから対策しても、手遅れの可能性があります。早めの服薬も大切です。市販薬でのぐよりも、医師の診察を受ける方が、自分の体質や症状にあった対策ができます。

室内での対策も重要!



花粉は、衣服への付着や換気によって、室内にも入ってきます

花粉を入れない ・建物に入る前に上着を脱ぐ・換気をする時は、レースのカーテンを使用する
花粉を舞い上げない・掃除機は花粉を舞い上げるので、粘着テープや水拭きなどでまず取り除く
加湿で喉鼻を守る・加湿器等で適度な湿度を保つ ※乾燥で粘膜が傷つくと花粉を取り込みやすくなります

(文責：養護教諭 小島喜久子)



『ひびき合い つくり合う』

静岡県立藤枝特別支援学校

〒426-0067 藤枝市前島 2281-1

TEL 054-636-1891 FAX 054-636-3241

Email Fujieda-sh@edu.pref.shizuoka.jp

ホームページもご覧ください!

藤枝特支

Q 検索